

## こくみん共済 coop 「7才の交通安全プロジェクト」 北上市へ横断旗寄贈

こくみん共済 coop 岩手推進本部（佐藤伸一 本部長）は11月10日北上市へ横断旗 500本を寄贈しました。これは未来有る子供たちを交通事故から守ろうと、こくみん共済 coop が社会貢献活動として2019年から全国一斉に取り組んでいる「7才の交通安全プロジェクト」の一環で、当日は佐藤本部長はじめ役員および公式キャラクター「ピットくん」が北上市役所を訪れ高橋敏彦市長へ横断旗を寄贈しました。

連合花巻北上地協も「安心・安全な地域社会実現」と「自主福祉活動の推進」を目指していることから同席し、この取り組みについて伺って参りました。



冒頭、佐藤本部長より「7才の交通安全プロジェクト」について「小学校に上がり行動範囲が広がる7才児は歩行中の交通事故が多いことから、この横断旗を様々な活動に使っていただきたい」とあいさつ。また、この横断旗は組合員の「マイカー共済」見積もり1件につき1本寄贈しており、この地域ではたらく労働組合みなさんの協力をいただいている事が話されました。

高橋市長からは、企業立地が増え人や交通量も多くなっており、子供の事故も心配される。これを機に事故を減らしていきたいと、御礼のあいさつがありました。

こくみん共済 coop 岩手推進本部は、春の3自治体につづき、今回は西和賀町（10月6日）に続く、県内6自治体に横断旗 合計1,800本を寄贈されました。

我々の活動が、子供を守る活動に繋がる事から、引き続き労働者自主福祉活動の推進に努めたいと思います。

